

# 第1学年東組 生活科学習指導案

学習指導者 中家 啓吾

## 1 単元 「だいすき ふぞくしょうがっこう」

### 2 単元について

#### (1) 「思考力」とその育成に向かう対話

##### 【単元で育成したい「思考力」】

これまでの経験と学校探検で出会った人、物、ことを結び付けながら、学校での生活のしかたを知り、学校で自分がしてみたいことを見いだす力

##### 【「思考力」の育成に向かう対話】＜拡散型＞

学校探検を通して見つけた好きな場所を紹介し、その場所でできそうなことについて話し合う。

本単元では、子どもたちが学校のことを詳しく知り、楽しく安心して生活できるようにするために、学校探検を複数回行う。1回目は2年生と一緒に探検し、気付いたことを紹介し合い、より詳しく知りたいこと等を明らかにした上で、今度は自分たちだけで2回目の探検に出かける。それらの過程で、「図書室では、平尾先生が本の貸し出しをしてくれるよ。図書館と同じでピットしてもらって借りるよ。」や「お家よりもたくさん本があるから、いろいろな本を借りて読みたいな。」等と、日常生活におけるこれまでの経験と学校探検で出会った人、物、ことを結び付けながら、学校での生活のしかたについて理解を深めていく。また、探検後には、校内で見つけた事柄を共有し合い、次の活動への意欲を高める。その段階では、学校での生活について分かったことから「昼休みに体育館で友達とバスケットボールがしたい。」等と自分が学校でしてみたいことを見いだしていくのである。

上記「思考力」の育成には、上記対話が有効である。学校探検をして、気付いたことを記録した発見カードの中から好きな場所を選ばせる。そして、探検して分かったことを振り返らせながら、その場所でできることを話し合わせる。例えば、「私の好きな場所は音楽室です。ここではピアノを弾いたり、歌を歌ったりできます。」という意見に対し、「いいね。僕も音楽室が好きだよ。溝渕先生と一緒に歌が歌いたいなあ。」や「僕は、歌も好きだし、本も好きだから、図書室でいろんな本を読みたいなあ。」等と応じる中で、それぞれが選んだ好きな場所への興味が深まったり、自分が選んでいない場所への関心が高まったりし、「音楽室へ行って、鉄琴をたたいてみたい。」や「図書室で平尾先生に読み聞かせをしてもらいたい。」等という思いにつながっていくと思われる。このように、好きな場所とその場所でできそうなことについて対話する過程で、自分が選んだ場所と友達を選んだ場所を比べたり、互いが見つけた気づきを共有したりすることができる。そして、多様にある、できそうなことの中から、自分の思いに応じて、自分がしてみたいことを見いだしていくのである。

#### (2) 対話への支援 ＜拡散型の対話＞

##### ① 多様な考えを生む授業構成 ～体験、経験したことや既習の学びを段階的に想起させる～

学校探検を通して見つけた事柄は発見カードに記録するが、それには探検した場所の大まかな様子やそこにある目立つ物が記録されている場合がほとんどである。したがって、それぞれの場所で見つけた物は想起できても、そこで出会った人のことは想起されにくい。

そこで、好きな場所を選ぶ際に、学校探検で訪れた場所とそこをより詳しく見せる写真を段階的に提示し、想起させる。まず、その場所の全体が分かる写真、続いて、そこで子どもたちが見つけた物の写真、最後に、そこで出会った人や関わりのある人の写真というように、段階を追って提示するのである。そうすることで、例えば「理科室では、お兄ちゃんが骸骨を使って勉強していたよ。」と、人に関わることを想起することができる。また、本が好きという理由から図書室を好きな場所に選んでいた子どもが「平尾先生に本を読んでもらえないかな。」と、その場所でできることについて多様な考えをもつことができる。

## ② 育てるカウンセリングを生かした支援

### ア 本単元外での活動を想起・活用させる支援

本学級の子どもたちは、Q-Uの「友達の話最後まで聞いていますか」の質問に対して、大部分が「いつもしている」や「だいたいしている」と答えている。しかし、1年生という発達段階もあり、自己中心性が強く、発表はできても聴くことが苦手な子どもが多いように見受けられる。そこで意識に実態が伴うよう、朝の活動等で、「元気の出る聴き方」\*1「そうだねゲーム」\*1といった活動に取り組んでいる。それを想起させるために、笑顔でうなずいている子どもの絵と共に吹き出しで「そうだね」「いいね」のことばを提示する（対話の技能）。それらのことばを使いながら、互いの考えを聴く意識を高め、対話ができるようにしたい。

### イ 本単元内で直接行う支援

Q-Uの結果より、本学級には学級内で認められていないと感じている子どもが10名程度いることが分かっている。そこで、A児のように、周りから認められていないという意識から自分に自信がもてず、対話に対しても意欲が高まりにくい子どもを中心に、正のフィードバック\*2（対話の雰囲気）を行う。対話の場面で、しっかりとわけが説明できたり、相手の方を見ながらじっくり話を聴いたりすることができている子どもたちの発言や行動のよさを積極的にほめ、認めることで対話の雰囲気をつくっていきたい。そうすることで、A児のような子どもは自信をもつことができ、周りの子どもたちがしっかりと聴く態度を示すことで認められていると感じることができると思われる。

## 3 単元計画（総時数 12時間）

次	主な学習活動	対話への支援
第一 次	①② 2年生と一緒に学校を探検する。 ③ 2年生と行った学校探検の振り返りを行い、もう一度行きたい場所やしてみたいこと等について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">次に探検したい場所について話し合おう</div> 探検して気付いたことを基に、次に探検したい場所について説明している。	③④【雰囲気】対話の際、子どもたちの話し方や聴き方のよさを認め、ほめることで、対話の雰囲気をつくり出す。 ③④【技能】話を笑顔で聴いている子どもの絵を提示し、話を聴くときは相手の方を向き、うなずきながら聴けるようにする。また、「そうだね」や「いいね」等のことばを吹き出しを用いて示し、相手を認めながら話が聴けるようにする。
第二 次	④ 全員で話し合っただけ決めた探検したい場所を探検し、見つけたことを発見カードにかく。 ⑤ 校内の先生に挨拶に行く活動のしかたを知り、練習する。 ⑥⑦ 探検できていない場所に探検に行き、発見カードをかく。 ⑧ 未完成の発見カードを仕上げたり、気になる場所を選んだりした後、探検して見つけた事柄の役割について確かめる。 ⑨ 自分の好きな場所を紹介し、そこでできそうなことについて話し合う。 【本時 9/12】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">好きな場所で、どんなことができるだろう</div> ⑩⑪ 自分がしてみたいことを、その場所に行ってやってみる。 ⑫ これまでに出会った人、物、ことに関する役割等について再度確かめるとともに、学校探検のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学校探検をして見つけたことから好きな場所を選び、それらを伝え合うことで、自分がしてみたいことを見いだしている。</div>	⑨【多様な考えを生む授業構成】探検した場所の写真を黒板上に提示する際、まず場所が分かるように大きく写した写真、次に、子どもたちが見つけた物の拡大写真、それからその場所出会った人に焦点を当てた写真というように段階を追って提示し、想起させることから多様な考えが生まれるようにする。

### 対話に関わる学び（本単元外）

#### 朝の活動

・「元気の出る聴き方」\*1について話し合い、聴くスキルを高めている。

・「そうだねゲーム」\*1を通して、相手の話に対してうなずきながら聴く態度を育成している。

4 本時の学習指導

(1) 目標

学校探検をした場所から好きな場所を選び、その場所に出合った人、物、ことに関わる、その場所できそうなことについて話し合うことで、自分が好きな場所ですてみたいことを見いだすことができる。

(2) 学習指導過程

学 習 活 動	子 ども の 意 識			
1 自分の発見カードを振り返りながら、学習問題を確かめる。 <b>【多様な考えを生む授業構成】</b>	学校探検をして、楽しかったからまた行きたいな。 それぞれの場所で見つけたことをカードにたくさんかいたよ。 場所によって見つけた物が違うし、できることがありそうだね。			
好きな場所で、どんなことができるだろう				
2 自分がかいた発見カードと、学校探検で行った場所の写真を見ながら、好きな場所できそうなことを思い浮かべる。 <b>【多様な考えを生む授業構成】</b>	自分が好きな場所を選べばいいんだな。 図書室では、いろいろな本が読めるよ。 音楽室では、ピアノが弾けそうだよ。 メディアルームではパソコンを使って勉強できるよ。 理科室で、骸骨の勉強をするよ。 平尾先生と一緒に本が読めそうだね。 溝渕先生と音楽の勉強ができるね。 大きなテレビも使いながら勉強できそうだね。 理科室で、メダカを飼いたいね。 友達はどこを好きな場所を選んだのかな。			
3 自分が選んだ中でも、いちばん好きな場所から友達に紹介する。 <b>【雰囲気】</b> <b>【技能】</b> (1) ペアで (2) 全体で	図書室が好きだよ。いろいろな本が読めるよ。 私は音楽室が好きだよ。溝渕先生と一緒に歌えるよ。 メディアルームのパソコンを使って、絵が描けるんじゃないかな。 理科室で、みんなで骸骨の勉強ができるよ。 平尾先生に読み聞かせをしてもらえそうだよ。 音楽室だったら、鉄琴をたたけると思うよ。 そうなんだ。パソコンで絵が描けるんだ。それなら、やってみてみたいな。 メダカ以外にもいろんな虫も飼ってみたいな。 それぞれの場所で、できそうなことがいっぱいあるんだね。 友達が紹介していたことを自分も確かめたいし、してみたいことがあるからまた探検に行きたいな。 ○○へ行って、□□をしてみたいな。			
4 自分の好きな場所できそうなことから、自分がしてみたいことを選んで、探検カードにかく。	△△もいいけど、◇◇もしてみたいな。 図書室へ行って、友達に本を読んであげたいな。 音楽室で、ピアノを弾いたり鉄琴をたたいたりしたいな。 うさぎ小屋もいいな。私は、うさぎが好きだから、うさぎを触りに行きたいな。 体育館へ行き、友達とバスケットボールがしたいな。 次の時間に、学校探検に行くのが楽しみだな。			

### (3) 対話への支援の実際

#### 学習活動 1, 2

学校探検を通して多くのことに気付いたこと、発見カードをたくさんかいたことを評価した後、「みなさんが附属小学校の中で、好きな場所はどこですか。」と問いかける。ここでの指名は、数名に限る。そして、「写真や発見カードを見ながら、見つけたことを思い出して、好きな場所を選んでみましょう。」と声をかけ、「ここはどこですか。」と言いながら写真を提示する。その後、「場所によってすること、できる勉強がありましたね。」と前時の振り返りから、「みんなの好きな場所では、何ができそうかな。」と問いかけ、子どもたちの反応を見ながら、「そこでできそうなことは何か、考えてみましょう。」と学習問題を設定する。さらに、「見つけた物から思い出してみよう。」と助言し、見つけた物がよく分かる写真を示し、より詳しく想起させる。見つけた物の確認ができれば、「そこには、誰かいませんでしたか。」と尋ねながら、そこにいた人が分かる写真を提示する。黒板には、横に並べて示し、子どもたちが見つけた物や出会った人を意識できるようにする。

好きな場所を選ぶ際は、学校探検をして気になる場所についてあらかじめ発見カードの右上に赤色シールを貼ってあるので、赤シールが貼られた発見カードの中から選ぶこととし、いちばん好きな場所について、赤色シールの上から星のシールを貼らせる。星のシールを貼ったカードの場所から紹介することを伝え、何から話していいのかわからずに、すぐに対話が始められるようにする。

#### 学習活動 3

学習活動 2 において好きな場所を選んだ子どもたちは、友達がどこを選んだのかについて、関心を抱いていると思われる。そこで、「友達が選んだ好きな場所は、自分が選んだ場所と同じかな、違うかな。」と全体に声をかけ、「いちばん好きな場所を友達に話して、そこでできそうなことを一緒に考えてみましょう。」と指示する。そのように、対話の前に友達と一緒に活動する意識をもたせる。

まず、ペアでの対話を行う。対話を始める前に、代表の子ども 1 名と共に、対話のしかたを実際にやってみせる。「まず、カードはいちばん好きな場所をいちばん上にしておきます。そして、話すときは好きな場所とそこでできそうなことを言います。『僕の好きな場所は、図書室です。図書室では、いろいろな本が読めます。』と言います。聞いた人は何と言いますか。」と尋ねる。しばらく考えさせて、「いいね。」や「そうだね。」といったことばが返ってくれば、「前に勉強したことをよく覚えているね。」とほめ、右図の絵を示し、全員が想起できるようにする。



【朝の活動を想起】

に。答えるのが難しい場合は、朝の活動\*<sup>1</sup>を想起できるように、先に絵を提示する。(対話の技能)

先の「いいね。」のことばに続けて、「図書室では、本を借りることもできるよ。」等と自分の考えが紹介できたら、「上手に言えましたね。」や「自分の考えをきちんと言えましたね。」と称賛する\*<sup>2</sup>

(対話の雰囲気)。なお、そこでできそうでないと思われる意見に対しては、「おしいよ。」や「それはできないと思うよ。」と答えることを確かめておく。対話のしかたを共通理解した後、隣の人と対話を始める。また、A児のように支援が必要な子どもを優先して机間指導し、「どうしてそこを選んだの。」と尋ねたり、話し方や聴き方を称賛したりし(対話の雰囲気)、対話ができるよう支援する。

ペア対話の進行状況を確認し、全員が話し終えているようであれば、全体対話を始める。その際、一人目が紹介した好きな場所と同意見の子どもから先に指名していくようにし、子どもの意識の流れに無理がないようにする。また、「いいね。」や「そうだね。」とうなずきながら、受容的な態度で友達の意見を聴いている子どもを称賛する\*<sup>2</sup>(対話の雰囲気)ことで、聴くことへの意識を高めていく。

### (4) 評価

学校探検を通して見つけた好きな場所でできそうなことを思い浮かべ、それらの中から自分がしてみたいことを明らかにし、次時に探検したい場所を見いだしている。

<例>私は、音楽室でピアノを弾いたり溝渕先生と歌を歌ったりしたいです。

【方法：発言、ワークシート】

生活科 実践例①

「だいすき ふぞくしょうがっこう」(第9時)

㊦ すきなばしょで、どんなことができるだろう

①ほんをかりる  
 ②ほんをよむ  
 ・ひらおせんせい  
 ・えさをあげる(みず)  
 ・うさぎのせわ  
 ・うさぎをみる  
 ・うさぎをたく

③たいいくのべんぎょう  
 ④ばすけ  
 ・かけっこ  
 ・げき  
 ・たいいくかんぢょうれい  
 ・うんどうかい  
 ・たのしいこと  
 ・ぼろろなげ

・ほんのよみかせをきける  
 ・ほんのべんぎょう  
 ・そのこんのべんぎょう  
 ・そうじきで  
 ・そうじ

⑤きょうしゅくがつくれる  
 ・つくっているところをみる

→ほん

5  
がつ  
21  
にち  
もく  
ようび

にっちゃんくさん

おんがくし

せんせいがかひあのをひいてくれる  
 からうたをうたう  
 おんがくにいわせてうたう  
 ひあのをひける  
 できそうなこと

しょうじょう

こくばん  
てれび

← 補助黒板



はっけん

かあと



しいる

( ) でみつけたよ。

なまえ ( )



たんけん

かあと



( ) どの  
で、  
したいこと  
( ) が  
したいよ。

なまえ ( )